

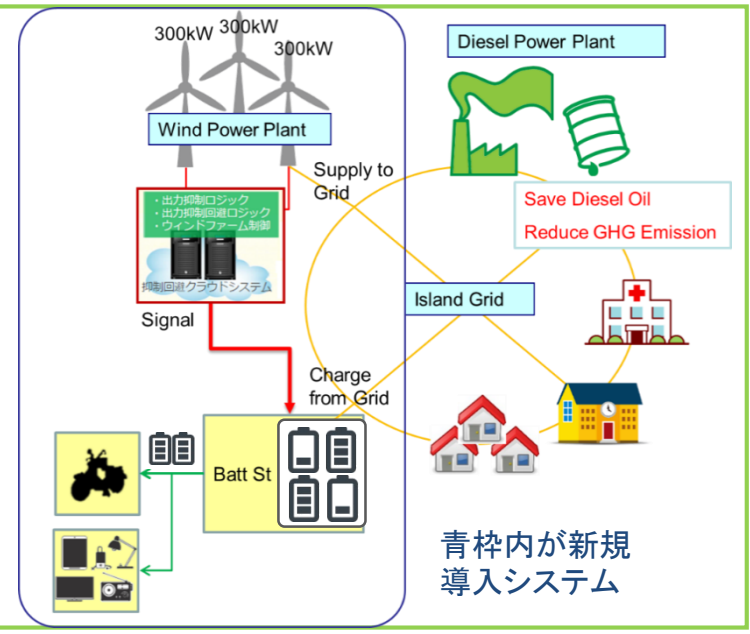
フィリピン小規模離島向け台風対策風力発電機および  
多用途バッテリーによる余剰電力活用システムの開発・実証

事業実施団体：株式会社駒井ハルテック、  
本田技研工業株式会社

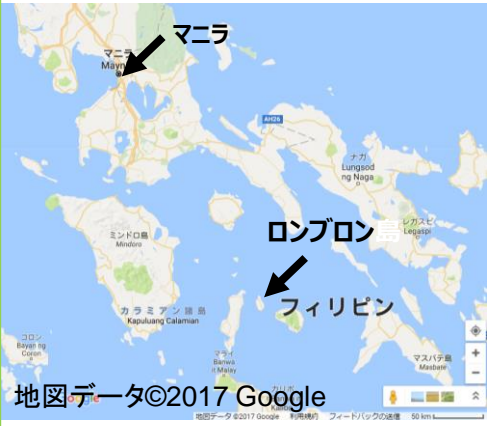
リノベーション・実証の概要

フィリピンの離島に適した300kWの中規模風力発電機とバッテリー充電ステーションをネットワークで結び、制御システムにより風車の余剰電力を活用してバッテリーを充電することで、風力発電機の出力量を抑制を緩和する。更に、充電したバッテリーを主にEV二輪バイクの電源として利用することで、さらなるCO2削減効果を創出する。

- 再エネ電源を利用し、着脱式バッテリーを採用することで、電力需要に合わせた需給調整とEV走行の2つの機能を1つのバッテリーで充足する。
- アジアの使用環境に対応したEV二輪バイクを開発する。
- 超大型台風にも対応可能な風力発電機を開発する。



対象とする国・地域の概要



- 小規模離島が点在し、電力供給は100%ディーゼル発電に依存
- 二輪バイクが主要な交通手段
- 風力発電の資源量が豊富

対象とする国・地域における事業化・普及の見込み

**事業化見込み**  
 STEP1: 実証システムの運用結果を受けた、同システムの拡張及び、次期導入サイトの検討(2019年～)  
 STEP2: 次期導入サイトへの導入設計(2020年～)  
 STEP3: フィリピン離島へ年2カ所程度導入目標(2021年～)

**普及の見込み**  
 フィリピン国内には、小規模な独立システムが約300ヶ所あり、順次導入を進めていくことを計画している。